

第6回 T O M A S 東京都3年生サッカー交流 11ブロック大会

<交流会趣旨>

- ・ 少年期における子供たちの健全なる心身の発達を願い、そしてサッカーのゲームを楽しみ、愛する心を育てる。
- ・ 選手育成をめざし、多くの選手に試合経験を与えることを目的とする。

* 主 催 公益財団法人 東京都サッカー協会 東京都少年サッカー連盟

* 主 管 東京都少年サッカー連盟

* 協 賛 リソー教育 グループ

* 協 力 府中YSS

【11ブロック交流会要項細則】

1、期日 2022年11月23日(水) ～ 2022年12月25日(日)

2、会場 稲城市南多摩スポーツ広場多目的広場 他、町田市・多摩市・稲城市の提供会場

3、参加資格

- (1) 2022・連盟大会要項「中央大会・ブロック大会共通事項」に準じる。
- (2) 小学校3年生主体で編成されたチーム。ただし2年生以下の選手を含める場合は選手の健康・体格・体力・技能等を十分に考慮しチームの責任において出場させること。
- (3) 複数チームエントリーは採用しない。
- (4) 移籍については2022・連盟大会要項『移籍規定』に準じる。
移籍先チーム及び移籍元チームは、ブロック委員長への報告を必須とする。
(ブロック大会から中央大会に至るまでに、同一選手が異なるチームで同大会へ参加することは出来ない)
- (5) チームに所属する選手であり、JFAの選手証を有し試合に持参する事(個別又は一覧の印刷された選手証)
(追加選手はJFAに登録申請し承認されたら顔写真を登録し、印刷した選手証を持参する事)
- (6) 会場運営、準備・後片付けなど、大会の運営に協力でき、且つ会場ルールを守れるチームであること。
例:最初の2試合のチームが会場作りを行い、最後の2試合のチームが後片付けを行う。

4、引率指導者 2022・東京都少年連盟大会要項「参加資格について」に準じる。

- a. 本協会公認指導者資格D級以上を有する2名以上5名以下の指導者がベンチ入りすることが必須であるが、指導者講習会の開催が十分でない今期は、最低1名の有資格者がいれば、残り4名以下は「指導者資格取得予定者」としてのベンチ入りを認める。同予定者は指導者講習会が開催された際には、受講することが前提。
- b. 3人目～5人目の内1名は指導者資格を有しないメディカルスタッフとしてベンチ入り可能。
- c. 指導者資格保持者は「指導者証」をメディカルは「メディカル証」を首掛け式カードケースに入れて会場内で常時掲示する。指導者資格取得予定者はwebの「JFAID」を印字して会場内で常時掲示すること。
(指導者証・メディカル証・JFAID証・役員証)を入れたカードケースを試合会場入場用の『ID』とする)
- d. 登録用紙兼メンバー表にベンチ入り指導者の氏名を記載する。氏名の左の欄には、ベンチ入り指導者の責任上位順に①②③④⑤を記載する。メディカルスタッフの氏名の左の欄には「○」のみで良い。
また、主審が判別しやすいように、ベンチの一番センター寄りには責任上位①位のスタッフが座る。
- e. ベンチ入り指導者は、最初の試合30分前までに、必要事項が記載された登録用紙兼メンバー表と選手証と一緒にそれぞれの『ID』を当日の運営担当に提出してチェックを受けなければならない。
- f. 試合開始から終了まで、登録表兼メンバー表に記載され、指導者資格証を首掛け式カードケースで掲示した2人以上5人以内のチーム指導者がベンチにいないといけない。例外として前後の試合の審判対応での退席の間、ベンチの指導者が1名になる事は認められる。

- g. 後から参加する指導者がいない場合は2試合目は指導者証の提出は不要でメンバー表のみで良い。
- h. テクニカルエリアを設置しないので、戦術指示する場合は、立つ立たないに関わらず、**その都度1人がその場で指示**することが出来るが、**ベンチを離れたら指示が出来ない**。(警告の対象にもなる)
- i. 指導者資格保持者は指導者証を掲示してベンチ入りし、メディカルスタッフとしてはベンチ入りしない。
- j. メディカルスタッフは戦術的指示はできない。指示が発覚した場合は警告や退場の対象となる。
警告2枚や退場となる反則を犯したメディカルスタッフは、他にそのチームで対応ができる医療担当が不在で競技者に治療が必要な場合は試合に留まることが出来る。
- k. ベンチ入り指導者は、試合までに登録用紙兼メンバー表の懲戒罰の有った選手の累積欄に、累積の有無を記載(✓または1)して提出する。懲戒欄にはその試合で受けた懲戒内容(警告・退場・出停)を記載する。
出場停止などで懲戒処分後の累積が無くなったなら、懲戒記録は記載しなくても良いが累積欄に「済み」を記載する。
既に警告1があり、KFPM時に2つの警告を受けた場合、出場停止後も累積1が残る。
- l. ベンチスタッフの不正行為の発覚で審判がスタッフ個人を特定できなかった場合は、登録表兼メンバー表に記載された『責任順位番号』の最上位の指導者に警告もしくは退場が命じられる。
- m. ベンチスタッフの代表者は試合終了後主審が記載した「結果報告書」の内容(得点、懲戒の有無)を確認し記載の内容に間違いが無かったら所定の欄に署名する。
- n. ベンチやその周辺で認められていない電子機器や通信機器を使用する事は退場となる場合がある。

5、試合方法 2022・東京都少年連盟大会要項「参加資格について」に準じる。

- a. 試合形式はグループリーク戦及び勝ち上がりトーナメント戦にて行う。
- b. 試合はすべて15分ハーフ(インターバル5分)にて行う。決勝戦については、同点の場合は5分ハーフの延長戦とする。勝敗がつかない場合は3人ずつのPK合戦とする(決まらない場合はサドンデス方式)。
決勝戦以外は延長戦は行わず、同点の場合は3人ずつのPK合戦にて勝敗を決める。
- c. アディショナルタイム表示はしない。
- d. 登録選手全員がベンチ入りできる。また全員が出場できるようにチームで配慮する。 8人制で実施する。

6、表彰 1～4位まで表彰する。 *6位までが中央大会へ出場出来る。

7、競技会規定

- (1) 試合は、2022・連盟大会要項「競技規則について」及び「8人制サッカー競技規則」の最新版に準じる。
日本サッカー協会2022/2023競技規則を適用した本大会要項細則により開催する。
- (2) 試合形式 荒天などの日程変更により試合時間を変更する場合があります。
 - a. 8人制のリーグ戦とトーナメント戦を組み合わせで行い、**上位6位までが中央大会に進出**できる。
 - b. 競技時間は30分(前後半各15分)で、インターバルは5分とし、アディショナルタイム表示はしない。
 - c. ボールは、両チームそれぞれが0.8気圧にして各1個ずつ持参した4号公認検定球を、当該試合開始10分前の用具チェック時までに会場本部運営に持ち寄り主審が確認する。
主審は、0.8気圧を基本として、そのボールにおいて適切な値とする。(主審判断)
 - d. 飲水タイム(1分間を超えない)や、Cooling Break(90秒間～3分以内)を設けた場合には、それぞれをアディショナルタイムとして扱う。
 - e. リーク戦における順位決定方法
勝3点、分1点、敗0点により、勝点の多い順に決定する。勝点の合計が同一の場合、以下に従い順位を決定する。
 - ① 全試合の得失点差(総得点－総失点)
 - ② 全試合の総得点
 - ③ 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
 - ④ ①～③の全項目において2チームもしくは3チームが同一の場合は、抽選により順位を決める。
 - f. トーナメント戦において同点の場合は決勝戦のみ5分ハーフの延長戦を行うが、決しない場合やその他の試合ではPK戦、いわゆる勝敗を決めるペナルティーマークからのキック(KFPM)を行う。KFPMは終了時にピッチにいた選手で行うが、ゴールキーパーが負傷で参加できなくなった場合は、控えのゴールキーパーと入替わることができる。KFPM(PK戦)は3人制で行い、決着しない場合はサドンデス方式とする。
- (3) 競技のフィールド ブロック大会ではそれぞれの会場に応じて設定する。
 - a. フィールドの表面は天然芝、人工芝が望ましいが、クレーでも可(ライン表示はマーカーコーンの使用可)

- b. フィールドの長さ(タッチライン)は 60m、幅(ゴールライン)は40mを基本とし、照度が十分に確保されていること。
交代ゾーンとして中央から両側に 3 mのマーク(タッチラインから5cm離して30cmの線)を設ける。
 - c. ペナルティ-エリア等：ペナルティ-エリア 12 m、ゴールライン～ペナルティ-マーク 8 m、ゴールエリア 4 m、ペナルティ-アークの半径 7 m、センターサークルの半径 7 m、コーナークラーク半径 1 m。
 - d. テクニカルエリアは設置しない。戦術指示はその都度ベンチのただ 1 名の有資格指導者のみが行える。
 - e. ハーフタイム時のフィールドでは、次の試合のチームの練習のための利用を認める。
- (4) 競技者・・・リハウスリーグと違い、事前の登録申請は不要だが、試合当日までに選手証取得は必須。
- a. 8 人の競技者(うち 1 人はゴールキーパー)が試合に出場する。試合の都度のチーム登録人数に制限はない。
 - b. 試合に出場(ベンチ入りも)出来る競技者は、登録用紙兼メンバー表への登録者で、用具チェックを受けた者だけとする。出場停止中や用具不備の選手や、応援のためだけでベンチ入りすることは出来ない。
 - c. 選手はチームの最初の試合の30分前にはメンバー表と印刷された選手証を、試合の都度10分前には氏名と用具を、それぞれ運営本部や審判のチェックを受けなければならない。(時間厳守)
後から参加する選手がいない場合は 2 試合目以降は選手証の提出は不要でメンバー表のみで良い。
 - d. フィールドプレーヤー(FP)は交代ゾーンから自由な交代とする。ゴールキーパー(GK)の交代は主審に通知し試合停止中に行う。交代で退く GK は一番近いタッチラインかゴールラインから出なければならない。
交代で入場する GK は、主審の合図の後に交代ゾーンから入らなければならない。
ベンチでの交代要員は、試合中のユニフォームと異なる色(ビブス等)を着用する。
 - e. 一方のチームが 8 人に満たない時は試合を開始しない。試合中の退場者は即時補充することが出来る。
主審は補充が完了するまで競技を再開しない。
試合が開催出来なかった場合、8 人に満たないチームの放棄試合として不戦敗扱いとする。
 - f. 退場処分(試合中、KFPM 中とも)を受けた選手は自動的に次の 1 試合に出場できない。内容によっては東京都少年連盟規律フェアプレー委員会によって追加処分を与える場合がある。
 - g. 警告を累積で 2 度受けた選手は、自動的に次の 1 試合に出場できない。累積は本大会終了時に消滅する。
試合中に示された警告は、その試合の KFPM(ペナルティマークからのキックで勝敗を決める PK 戦)に繰り越されないが KFPM 時での警告は以降の試合に累積される。
例1：試合中に警告を 1 度受けた選手が KFPM 中にもう 1 度警告を受けると当日 2 つ目の警告となるが、その場では退場にならない。但し累積 2 となるので次試合には出場不可で、内容によっては追加処分がある。
例2：累積警告が 1 の選手が KFPM 中に新たに 2 つの警告を受けて退場になった場合、次試合は自動的に出場停止になるが、退場時点で累積合計 3 の為、出場停止明けの試合からは累積 1 となる。
 - h. 試合中および終了時、フィールド上に 6 人未満の場合、試合は不成立(6 人未満のチームの放棄試合)となる。
なお、用具を直すまたは負傷の処置で一時的に 6 人未満の場合は復帰を待って再開させる(アディショナルタイムの対象)。本項は早期に復帰することが条件となる。復帰の処置に見通しがたたない場合、もしくは長い時間が掛かる見通しの場合は主審の判断で競技を終結させて、放棄したチームの不戦敗となる。
 - i. 選手は必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
- (5) 競技者の用具(ユニフォーム) 規定への抵触の有無等の確認がある場合は大会前に役員へ照会する。
- a. 日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。
※チーム名やチームを示すエンブレムをシャツの前面に固定されて表示する。(背面は任意)
交代要員はユニフォームと異なる色(ビブス等)を着用する。
 - b. 選手番号は規定(背面：縦25cm-35cm、前面：縦10cm-15cm)サイズを適宜縮小することができる。
 - c. 番号表示はシャツの背面及び前面に必須とする。ショーツには表示を推奨する。
ユニフォームは正・副(同じ番号)持参し、試合ごとに固有の番号とする(11b ローカル)
胸番号と背番号は正しく固定されて明確に表記されなければならない。
 - d. ユニフォームのメーカーロゴの違い、モデルチェンジによる微妙なデザイン違い、ソックスのライン数など購入時期の違いでの微妙な色違いなどの細部には言及しないが、審判員が通常着用する黒と明確に判別出来るものとする。
黒・紺系のシャツについては継続利用は可とするが、新調する際は本色は使用できない。
 - e. 試合には必ず F P 正副と G K 正副を持参し、用具チェック前に対戦相手と相談の上、試合で着用するユニフォームを決める。相談が纏まらなかった場合は審判もしくは大会役員によるコイントスで正副を決める。
 - f. **ゴールキーパーユニフォームはフィールドプレーヤーのショーツとソックスと同じでも構わない。**
 - g. GKの予期せぬ事態(戦術的理由ではなく怪我や退場により交代せざるを得なくて控えの GK がいない場合)で、FPがGKに交代する際のユニフォームは、他のプレーヤーと区別する為に、試合で使用していない正副いずれかの

シャツで本人の番号であれば着用可能だが、それが難しい場合、番号無しの安全なジャージやTシャツ等を着用して続けることが出来る。その場合において**ビブスは不可で、ゴールキーパーユニフォームの着回しは出来ない。**

- h. ゴールキーパーの正副は同じデザインが基本だがメーカーのモデルチェンジでの多少の違いは問わない。
また3人目からのGKのユニフォームは前の2人と異なるデザイン・色彩でも良いが、シャツ・ショーツ・ソックスは正副を揃え、且つFPと区別できる色とし、本人固有の番号が表示されていること。
- i. ソックステープ等外部に着用する際、ソックスと同じ色でなくても良く、チーム内で統一する必要もない。
アンダーシャツ・アンダーショーツ並びにタイツの色は問わないが、チーム内で統一とする。
GKのアンダーシャツやアンダーショーツはFPと異色でも良いが、2人目のGKと同じとする。
リバーシブル仕様のユニフォームは規定に準じ且つ健康や衛生面が保たれていれば着用を可とする。

- (6) 審判 競技規則の変更点を確認し、変更されたルールを理解して実践できる審判員であること。
 - a. 1人の主審と1人の補助審判（必須）、又は1人の主審と2人の副審及び1人の第4の審判で運営される。
 - b. チーム割当ての審判任務の対応として、有資格で経験のある審判員をチームに帯同させなければならない。
 - c. 帯同審判員は本大会に参加している他チームと掛け持ちで帯同審判員となることは不可とする。
 - d. 審判員は必要に応じ審判を行う前に審判資格証(アプリ画面可)を本部運営に提示し確認を受ける。
 - e. 審判員は「専用に販売されている審判服」の着用を必須とする(黒ハーフパンツ等ではNG)。
ベンチ入り指導者が審判を行う場合、ベンチにいる際は審判服を着替えるか上着を着用する。
 - f. 審判員は審判証・ワッペン・笛・トスコイン・時計・懲戒カード・記録用紙・ペンを揃えて審判を行う。
グリーンカードは推奨する。
 - g. 審判員は割り当てられた試合の10分前の用具チェック時に合わせて指定の場所に集合し、メンバー表を基に、両チームの参加選手の選手番号や氏名を確認し用具のチェックを行う。
用具のチェックの際は、選手氏名とメンバー表との照らし合せと、ユニフォームのチーム名やエンブレムが固定されて表示しているか、胸番号や背番号が正しく固定されて明確に表示されているかも確認する。
 - h. 自チームの試合の次試合に審判任務を割り当てられ、その審判員が自チームの試合のベンチ入り指導者2名に含まれる場合、この用具チェック時にベンチ入りが1名になる事は可とする。その場合で審判員が唯一の指導者資格保持者で、ベンチが資格者不在になるのも可とする。
 - i. 主審は担当試合の終了後、速やかにコート本部と記録を整合の上「結果報告書」に得点と懲戒の有無を記載し署名する。両チーム代表者は結果報告書の内容に同意したらそれぞれの署名欄に署名する。
 - j. 主審は「結果報告書」に試合結果を記載し署名した後に「審判報告書」を作成し運営本部に提出する。この時の審判員が次試合のベンチ入り指導者2名の内の1名の場合、報告書作成が済むまで次試合のベンチ指導者が資格保持者ではない1名でも可とする。
 - k. 競技者に退場を命じてチームが交代要員から競技者を補充している間、主審は試合を再開させない。
 - l. メディカルスタッフのコーチングを確認(補助審判からの報告も含む)した場合、主審はそのメディカルスタッフに警告する。警告後もなお繰り返す場合は、メディカルスタッフに退場を命ずることが出来るが、警告2枚や退場となる反則を犯したメディカルスタッフは、他にそのチームで対応ができる医療担当がおらず、競技者に必要と判断されたら試合には留まることが出来る。審判と運営に報告が必要。
 - m. ベンチ入りスタッフの不正行為に対してイエローカードやレッドカードを示すことが出来るが、不正を働いた者が特定できない場合は、メンバー表の指導者名の横に記載されている責任順位番号の最上位の指導者に懲戒になる為、主審は前以て最上位スタッフがベンチの一番センター寄りに座るように指示できる。
 - n. 高温や多湿の場合、役員や運営担当が設置するWBGT計の数値を基に、飲水タイムやCooling Break及び試合中断等の判断の是非を大会役員に伝える。試合の途中でも危険な数値になったら伝える。
 - o. 飲水タイムやCooling Break及び試合の中断(中止)の決定は大会役員が行い、両チームに伝える。
 - p. 飲水タイムでは選手はベンチ前で、タッチラインから出ずに、1分目安で終了する。GKは前もって自ゴールラインの後方の安全な位置に飲料水のボトルを持って行き、その場で飲水しても良い。
飲水タイム時には戦術的指示を行ってはならない。**交代は主審の管理のもとで行う。**
 - q. Cooling Breakでは、選手はベンチや日陰で飲水したり、氷などで体を冷やす為に1分半～3分間を確保する。
Cooling Break中は戦術的指示を行っても良いが、**交代は飲水タイム時と同様に主審の管理のもとで行う。**
 - r. 審判も飲水タイムやCooling Break時に飲水しても構わないが、両チーム及び選手の管理は怠らない。
特に飲水タイム中は主審と補助審それぞれで、両チーム選手の飲水の様子を近くで確認し、戦術的指示を出していたら注意する。

- (7) 試合前の準備から試合後の確認 30分前の提出と10分前の集合は時間厳守のこと

- a. チームの最初の試合開始 30 分前までに、登録用紙兼メンバー表の指導者の部分に、当日ベンチ入りする指導者の必要情報を所定の欄に記載し、且つ氏名左の欄に責任能力上位の順に番号①②③④⑤(メディカルスタッフは「○」のみ)を記載し、選手欄の必要事項記入及び前日までの試合で懲戒のあった選手の累積欄に懲戒数を記載。
(出場停止など既に懲戒処分が終了したら済を記載)し、当日不参加の選手名を横線で消してwebから印字した電子選手証一覧(又は個別選手証)と、ベンチ入り指導者全員分の指導者証がJFAIDを印字して入れた首掛け式の透明カードケースを本部運営に提出する。メディカルスタッフがいる場合は、登録用紙の所定欄に氏名を記載し指定のメディカル証をカードケースに入れて提出する。
- b. 試合開始 10 分前(必須)までに0.8気圧にした試合球 1 個を持参し、参加選手全員が本部運営の指示する場所(主に本部横)に集合して、ボール・選手氏名・背番号・用具のチェックを受ける。
- c. 競技者は用具チェック後はその場から離れることは出来ない。離れた場合再度用具チェックを行う。
- d. 試合終了後両チームの代表者は、主審が記載した結果報告書に署名する。チームの当日全試合終了後は、その日の登録用紙兼メンバー表を本部運営担当が回収する。
- (8) 運営担当 ベンチ入り指導者の氏名・級・責任順位の確認 責任順位最上位は主審に伝える。
- a. 運営は 2 チーム 1 名ずつで行う。運営担当は空気圧計と空気入れを持参し審判のチェックを補佐する。
- b. 運営担当は気温の高い日にはWBGT計を持参し会場の所定の位置に設置したうえで、KO時とHT時の数値を結果報告書の所定欄に記載し、危険な数値になったら審判と本部に待機しているブロック役員に伝える。
- c. 対戦表運営欄で、第 1 試合の左側に記載されていたチームの運営担当者は、当日そのコートで行われる全試合分の結果報告書と審判報告書及び懲戒台帳とその他報告書を持参する。
- d. 運営担当者は試合中ベンチ指導者の不正行為を発見し個人を特定できたら、補助審判を通して主審に伝えなければならない。個人が特定できなかった場合はベンチ内の責任順位最上位者が懲戒を受けることになる為、登録用紙兼メンバー表に記載の責任順位最上位者を主審に伝える。
- e. 試合中審判や本部で判断できない事由が生じた場合は、その場にいるブロック役員の判断を仰ぐか、ブロック委員長に連絡を取り相談する。役員不在や委員長と連絡が取れない場合は、予定通り試合を続け「ブロック委員長預かり試合」として、結果報告書には両チームの署名を求めず結果保留としておく。
後日委員長の判断が出たら、委員長が両チームから直接署名を受領する。
- f. 対戦表運営欄で最終試合右側の運営担当は、当日の試合を終了した全チームのメンバー表を回収し、基本はブロック競技部に渡すまで保管するが、懲戒罰の有ったチームのメンバー表は速やかに添付配信する。
- g. 当日の競技部への報告内容は、全ての試合の「結果報告書」と、懲戒のあった試合の「審判報告書」及び記載があった場合の「重要事項報告書」に懲戒チームのメンバー表と記載された場合の「その他報告書」を、pdfもしくは鮮明な写メ(必ず鮮明)で、結果報告書の最上部に記載の宛先(競技部と委員長)に、当日出来るだけ早い時間に競技部宛てに添付配信する。もしくは競技部に全ての資料を当日手渡しする。
- h. 運営担当者が試合中メディカルスタッフの戦術指示を確認したら、速やかに補助審判を通して主審に伝える。同様にベンチ指導者の、その都度 1 人のみの戦術指示が守られていなかったり、ベンチより前に進んでいるなど不正行為を発見したら補助審判に伝える。(最終ジャッジは主審が行う)
- i. 運営担当者は、主審が試合終了後に得点と懲戒の有無を記載し署名した結果報告書の内容を、両チームの(その試合の)代表者と共に確認し、間違いが無ければチーム署名欄に両代表者の署名をもらう。
- j. 運営担当者もしくはチーム関係者は誰でも、観客・指導者・審判員等の行き過ぎた言動を「その他報告書」に記載して委員長がブロック役員に手渡し又は競技部に配信して報告することが出来る。
「その他報告書」には署名は不要(匿名可)で記載内容は「記載例」を参照とする。
- (9) 懲罰及び再試合など
- a. ブロック大会期間中に累積で警告を 2 回受けた選手・スタッフは、次の 1 試合は自動的に出場停止となり、内容によっては東京都少年連盟規律フェアプレー委員会へ報告し追加懲罰が与えられる場合がある。
- b. 出場停止後またはブロック大会日程終了時点で、累積警告は消滅するものとする。
- c. 競技者が退場を命じられた場合、試合が再開する前にその競技者のチームは、交代要員の中から競技者を補充することが出来る。補充が完了するまでアウトオブプレーとする。
- d. 試合が両方のチームの責任なき事由(天災・悪天候・高気温・施設側または大会運営側指示)により開催不能や、途中で終結した場合は原則再試合とする。再試合の日時、会場、審判員、選手登録などは新たに設定できる。
- e. 大会本部および当該チーム合意のもとやむなき事情により再試合が出来ない場合は、速やかに競技部とブロック委員長に報告する。委員長は役員を招集して協議し、その後の処置を決める。
- f. 試合が一方あるいは両方のチームの責任における事由(集合場所への遅刻、選手証や指導者証の不携帯、人数不足、差別的言動、暴力、破壊行為、公文書偽装、会場ルール違反など)により主審や本部役員によって開催不能または中止と判断された場合は下記の対応とする。
- A. 一方のチーム責任による、開催不能もしくは中止の場合
・そのチームの放棄試合として、不戦敗扱いとする。
- B. 両方のチームの責任による、開催不能や中止の場合
・無効試合として原則『再試合』とする。

- ・再試合の日時、試合会場、審判員、メンバー登録などは新たに設定する事が出来る。
- ・ただし大会競技会本部及び当該チーム合意のもと、やむを得ぬ事情により再試合が不可能な場合は、『引分け』とし、トーナメント戦の場合本部役員による抽選により勝ち上がりを決める。

なお、A,Bにおいて内容によっては懲罰が与えられる。また重大事由の場合はブロック委員長から東京都少年連盟に報告され少年連盟規律フェアプレー委員会によって懲罰が決定される。

- g. 試合会場運営本部で判断が出来ない事象のまま終了した「ブロック委員長預かり試合」は、後日委員長が主導するブロック役員会や東京都少年連盟との相談の上判断して両チームへ伝え了承を求める。
- h. サッカーに対し敬意の無い行為(過激な応援・ヤジ・差別・審判へのクレーム等々)を行ったチーム関係者(選手・コーチ・応援含む)や、会場ルールを守らない者(選手・コーチ・保護者・その他チーム関係の来場者)があった場合、それらは「結果報告書」「審判報告書」「その他報告書」等により委員長始めブロック役員に報告され基本的にはブロック委員長からの注意喚起で対処するが、より悪質と判断された場合は東京都少年連盟に報告し懲罰の判断を仰ぐこととする。
- i. 本協会諸規程および本記載事項にない問題事例に関しては、東京都少年連盟へ報告して判断を促す。

■サッカー競技規則 https://www.jfa.jp/documents/pdf/soccer/lawsofthegame_202223.pdf

■8人制サッカー競技規則 <https://www.jfa.jp/documents/pdf/eight/rules.pdf>

■熱中症ガイドライン https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_guideline.pdf

感染症対策については別紙『新型コロナ対応のための特別ルール』をご確認ください。

2022年度 第6回 TOMAS 東京都3年生サッカー交流 11ブロック大会

11/23(水) グループリーグ (上位2位上がり)

参加チーム

複数エントリーは採用しない

No.	略称	抽選
1	FC芹ヶ谷	18
2	トリアネーロ	6
3	TRP町田	28
4	レオヴィスタ	31
5	ブルファイト	15
6	小山FC	5
7	忠生SC	20
8	成瀬SC	30
9	本町田FC	24
10	相原FC	17
11	大蔵FC	10
12	小川FC	12
13	高ヶ坂SC	19
14	町田JFC	16
15	南大谷SC	22
16	緑山SC	27
17	SEISEKI	32
18	落合SC	2
19	多摩SC	7
20	鶴牧SC	1
21	TKスペラーレ	26
22	東寺方	3
23	ムスタング	14
24	青葉FC	25
25	稲城SSS	13
26	FC平尾	11
27	坂浜SC	29
28	長峰FC	21
29	プロGRESS	23
30	南山EFC	4
31	梨花FC	9
32	若葉台FC	8

11/23	東寺方小
A	グループ
1	鶴牧SC
2	落合SC
3	東寺方

11/23	南多摩覆蓋G
C	グループ
7	多摩SC
8	若葉台FC
9	梨花FC

11/23	諏訪小
E	グループ
13	稲城SSS
14	ムスタング
15	ブルファイト

11/23	諏訪小
G	グループ
19	高ヶ坂SC
20	忠生SC
21	長峰FC

11/23	緑山スポーツ広場
I	グループ
25	青葉FC
26	TKスペラーレ
27	緑山SC
28	TRP町田

11/23	南多摩覆蓋G
B	グループ
4	南山EFC
5	小山FC
6	トリアネーロ

11/23	東寺方小
D	グループ
10	大蔵FC
11	FC平尾
12	小川FC

11/23	本町田少年
F	グループ
16	町田JFC
17	相原FC
18	FC芹ヶ谷

11/23	本町田少年
H	グループ
22	南大谷SC
23	プロGRESS
24	本町田FC

11/23	南多摩覆蓋G
J	グループ
29	坂浜SC
30	成瀬SC
31	レオヴィスタ
32	SEISEKI

9:30
10:10
10:50
11:30
12:10
12:50
13:30
14:10
14:50
15:30

10:00
10:40
11:20
12:00
12:40
13:20
14:00
14:40
15:20
16:00

6チームが中央大会に出場

1	11/23	(水)	南多摩覆蓋G、本町田少年 緑山SH、東寺方小、諏訪小	中央大会(どちらか1日)
2	12/4	(日)	南多摩覆蓋G	3/11 (土)
3	12/18	(日)	南多摩覆蓋G	3/12 (日)
予備	12/25	(日)	南多摩覆蓋G	府中少年 サッカー場

2022年度 第6回 TOMAS 東京都3年生サッカー交流 11ブロック大会 1次リーグ対戦表

11/23(水)		多摩市立東寺方小学校				審判		運営		
1	10:00	1	鶴牧SC	vs	2	落合SC	大蔵FC	FC平尾	落合SC	大蔵FC
2	10:40	10	大蔵FC	vs	11	FC平尾	鶴牧SC	落合SC		
3	11:20	1	鶴牧SC	vs	3	東寺方	大蔵FC	小川FC		
4	12:00	10	大蔵FC	vs	12	小川FC	鶴牧SC	東寺方	FC平尾	落合SC
5	12:40	2	落合SC	vs	3	東寺方	FC平尾	小川FC		
6	13:20	11	FC平尾	vs	12	小川FC	落合SC	東寺方		
11/23(水) 各 3		覆蓋G(ｽﾊﾟｲ ｲｸ禁止)A (駐:8:30坂浜、9:30南山)				審判		運営		
1	10:00	29	坂浜SC	vs	30	成瀬SC	南山EFC	小山FC	成瀬SC	南山EFC
2	10:40	4	南山EFC	vs	5	小山FC	坂浜SC	成瀬SC		
3	11:20	29	坂浜SC	vs	31	レオヴィスタ	南山EFC	トリアネーロ		
4	12:00	4	南山EFC	vs	6	トリアネーロ	坂浜SC	レオヴィスタ	小山FC	坂浜SC
5	12:40	29	坂浜SC	vs	32	SEISEKI	小山FC	トリアネーロ		
6	13:20	5	小山FC	vs	6	トリアネーロ	坂浜SC	SEISEKI		
11/23(水) 各 3		覆蓋G(ｽﾊﾟｲ ｲｸ禁止)B (駐:10:30梨花、11:30若葉台)				審判		運営		
1	10:00	31	レオヴィスタ	vs	32	SEISEKI	多摩SC	若葉台FC	SEISEKI	多摩SC
2	10:40	7	多摩SC	vs	8	若葉台FC	レオヴィスタ	SEISEKI		
3	11:20	30	成瀬SC	vs	32	SEISEKI	多摩SC	梨花FC		
4	12:00	7	多摩SC	vs	9	梨花FC	成瀬SC	SEISEKI	若葉台FC	成瀬SC
5	12:40	30	成瀬SC	vs	31	レオヴィスタ	若葉台FC	梨花FC		
6	13:20	8	若葉台FC	vs	9	梨花FC	成瀬SC	レオヴィスタ		
11/23(水)		多摩市立諏訪小学校				審判		運営		
1	10:00	13	稲城SSS	vs	14	ムスタング	高ヶ坂SC	忠生SC	ムスタング	高ヶ坂SC
2	10:40	19	高ヶ坂SC	vs	20	忠生SC	稲城SSS	ムスタング		
3	11:20	13	稲城SSS	vs	15	ブルファイト	高ヶ坂SC	長峰FC		
4	12:00	19	高ヶ坂SC	vs	21	長峰FC	稲城SSS	ブルファイト	忠生SC	ムスタング
5	12:40	14	ムスタング	vs	15	ブルファイト	忠生SC	長峰FC		
6	13:20	20	忠生SC	vs	21	長峰FC	ムスタング	ブルファイト		
11/23(水)		町田市本町田少年サッカー場				審判		運営		
1	10:00	16	町田JFC	vs	17	相原FC	南大谷SC	プログレッソ	相原FC	南大谷SC
2	10:40	22	南大谷SC	vs	23	プログレッソ	町田JFC	相原FC		
3	11:20	16	町田JFC	vs	18	FC芹ヶ谷	南大谷SC	本町田FC		
4	12:00	22	南大谷SC	vs	24	本町田FC	町田JFC	FC芹ヶ谷	プログレッソ	相原FC
5	12:40	17	相原FC	vs	18	FC芹ヶ谷	プログレッソ	本町田FC		
6	13:20	23	プログレッソ	vs	24	本町田FC	相原FC	FC芹ヶ谷		
11/23(水)		町田市緑山スポーツ広場				審判		運営		
1	10:00	25	青葉FC	vs	26	TKスペラーレ	緑山SC	TRP町田	TKスペラーレ	緑山SC
2	10:40	27	緑山SC	vs	28	TRP町田	青葉FC	緑山SC		
3	11:20									
4	12:00	25	青葉FC	vs	27	緑山SC	TKスペラーレ	TRP町田	TRP町田	青葉FC
5	12:40	26	TKスペラーレ	vs	28	TRP町田	青葉FC	TKスペラーレ		
6	13:20									
7	14:00	25	青葉FC	vs	28	TRP町田	TKスペラーレ	緑山SC		
8	14:40	26	TKスペラーレ	vs	27	緑山SC	青葉FC	TKスペラーレ		

上位2位上り

東寺方小	A	グループ	鶴牧SC	落合SC	東寺方	*****	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
	鶴牧SC		☆ ☆ ☆			☆ ☆ ☆								
	落合SC			☆ ☆ ☆		☆ ☆ ☆								
	東寺方				☆ ☆ ☆	☆ ☆ ☆								
覆蓋G	B	グループ	南山EFC	小山FC	トリアネーロ	*****	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
	南山EFC		☆ ☆ ☆			☆ ☆ ☆								
	小山FC			☆ ☆ ☆		☆ ☆ ☆								
	トリアネーロ				☆ ☆ ☆	☆ ☆ ☆								
覆蓋G	C	グループ	多摩SC	若葉台FC	梨花FC	*****	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
	多摩SC		☆ ☆ ☆			☆ ☆ ☆								
	若葉台FC			☆ ☆ ☆		☆ ☆ ☆								
	梨花FC				☆ ☆ ☆	☆ ☆ ☆								
東寺方小	D	グループ	大蔵FC	FC平尾	小川FC	*****	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
	大蔵FC		☆ ☆ ☆			☆ ☆ ☆								
	FC平尾			☆ ☆ ☆		☆ ☆ ☆								
	小川FC				☆ ☆ ☆	☆ ☆ ☆								
諏訪小	E	グループ	稲城SSS	ムスタング	ブルファイト	*****	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
	稲城SSS		☆ ☆ ☆			☆ ☆ ☆								
	ムスタング			☆ ☆ ☆		☆ ☆ ☆								
	ブルファイト				☆ ☆ ☆	☆ ☆ ☆								
本町田少年	F	グループ	町田JFC	相原FC	FC芹ヶ谷	*****	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
	町田JFC		☆ ☆ ☆			☆ ☆ ☆								
	相原FC			☆ ☆ ☆		☆ ☆ ☆								
	FC芹ヶ谷				☆ ☆ ☆	☆ ☆ ☆								
諏訪小	G	グループ	高ヶ坂SC	忠生SC	長峰FC	*****	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
	高ヶ坂SC		☆ ☆ ☆			☆ ☆ ☆								
	忠生SC			☆ ☆ ☆		☆ ☆ ☆								
	長峰FC				☆ ☆ ☆	☆ ☆ ☆								
本町田少年	H	グループ	南大谷SC	プログレッシ	本町田FC	#REF!	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
	南大谷SC		☆ ☆ ☆			☆ ☆ ☆								
	プログレッシ			☆ ☆ ☆		☆ ☆ ☆								
	本町田FC				☆ ☆ ☆	☆ ☆ ☆								
緑山SH	I	グループ	青葉FC	TKスペラーレ	緑山SC	TRP町田	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
	青葉FC		☆ ☆ ☆											
	TKスペラーレ			☆ ☆ ☆										
	緑山SC				☆ ☆ ☆									
	TRP町田					☆ ☆ ☆								
覆蓋G	J	グループ	坂浜SC	成瀬SC	レオヴィスタ	SEISEKI	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
	坂浜SC		☆ ☆ ☆											
	成瀬SC			☆ ☆ ☆										
	レオヴィスタ				☆ ☆ ☆									
	SEISEKI					☆ ☆ ☆								

2022年度 第6回 TOMAS 東京都3年生サッカー交流 11ブロック大会 2次トーナメント

h:m\d		12/4(日)	会場	南多摩覆蓋G A面		審判		運営	
各 2 台 駐車場係：8:30～、9:30～、10:30～、11:30～									
10:00	I 2		vs	B2		A1	G2	C2	G2
10:40	C2		vs	J 2		I 2	B2		
11:20	A1		vs	G2		C2	J 2		
12:00	A1勝		vs	H1		F2	D1	E1	D1
12:40	E1		vs	A2勝		A1勝	H1		
13:20	F2		vs	D1		E1	A2勝		

h:m\d	12/4(日)	会場	南多摩覆蓋G B面			審判		運営	
各 2 台 駐車場係：8:30～、9:30～、10:30～、11:30～									
10:00	J 1		vs	D2		C1	E2	A2	E2
10:40	A2		vs	I 1		J 1	D2		
11:20	C1		vs	E2		A2	I 1		
12:00	B1勝		vs	F1		H2	B1	G1	B1
12:40	G1		vs	B2勝		B1勝	F1		
13:20	H2		vs	B1		G1	B2勝		

2022年度 第6回 TOMAS 東京都3年生サッカー交流 11ブロック大会

決勝トーナメント

h:m\d		12/18(日)	会場	南多摩覆蓋G A面		審判		運営	
各 5 台 駐車場係：8:30～、									
a1	10:00	A3		vs	A4		B3	B4	A4 B4
a2	10:40	B3		vs	B4		A3	A4	
a3	11:20			vs					
a4	12:00	a1勝		vs	b1勝				
a5	12:40	a1負		vs	b1負				
a6	13:20	a4勝		vs	b4勝				

h:m\d		12/18(日)	会場	南多摩覆蓋G B面		審判		運営	
各 5 台 駐車場係：8:30～、									
b1	10:00	A5		vs	A6		B5	B6	A6 B6
b2	10:40	B5		vs	B6		A5	A6	
b3	11:20			vs					
b4	12:00	a2勝		vs	b2勝				
b5	12:40	a2負		vs	b2負				
b6	13:20	a4負		vs	b4負				

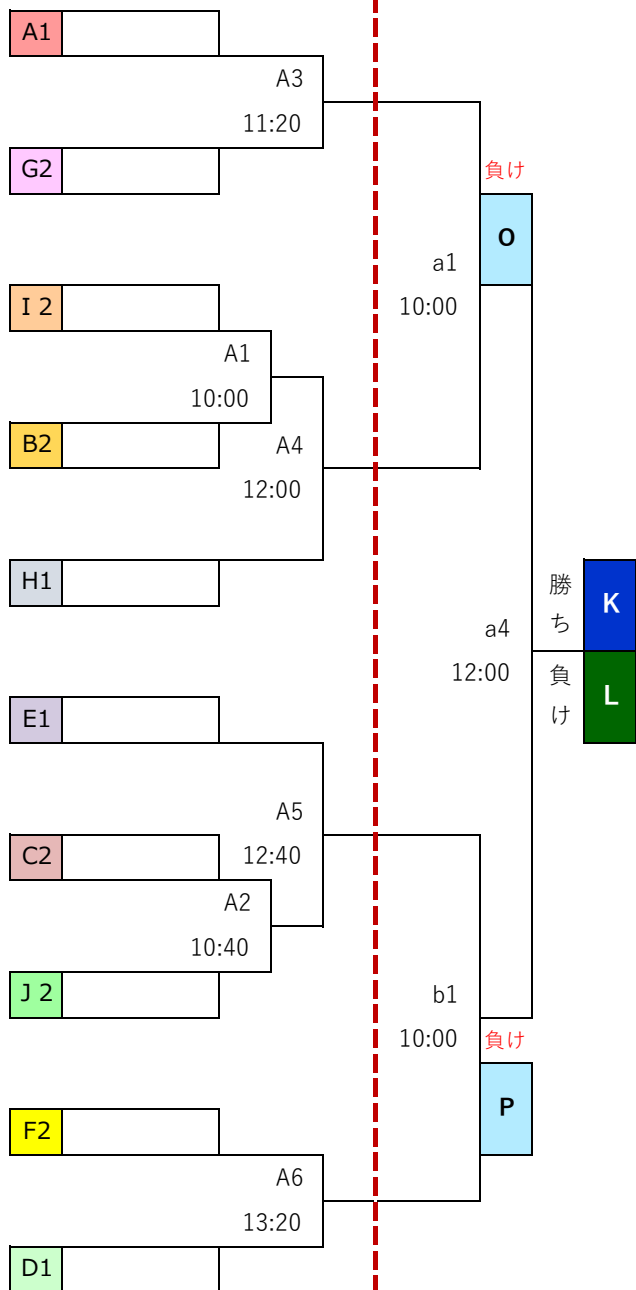
南多摩覆蓋（ふくがい）グラウンドは、土層が薄いためスパイク禁止です。

用具チェックでスパイクが確認されたら試合には出れません。

2022年度 第6回 TOMAS 東京都3年生サッカー交流 11ブロック大会

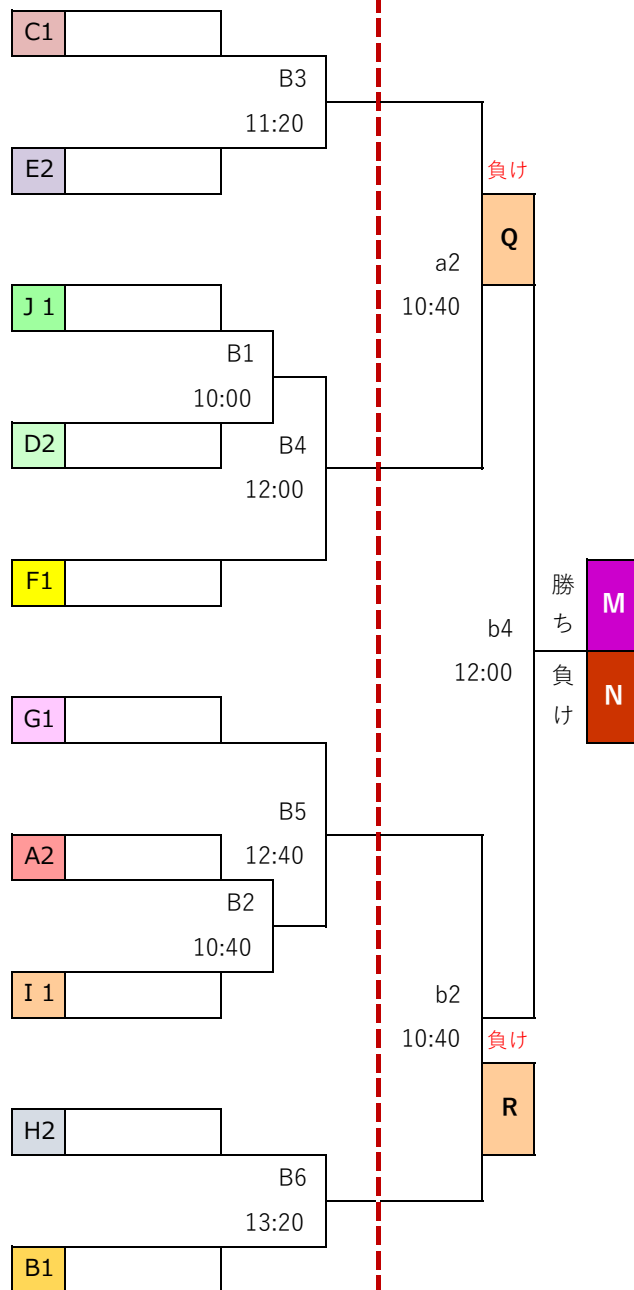
12/4 南多摩覆蓋G A面

12/18 南多摩覆蓋G



12/4 南多摩覆蓋G B面

12/18 南多摩覆蓋G



12/4 南多摩覆蓋G A面

12/18 南多摩覆蓋G

12/4 南多摩覆蓋G B面

12/18 南多摩覆蓋G

6位まで中央大会進出

優勝チームの山を5位・7位とする

準優勝チームの山を6位・8位とする

